

宇工高同窓会々報

発行所
宇都宮市京町9番25号
電話 (028)633-0451
宇都宮工業高校
同窓会事務局

同窓会からの

お知らせ

同窓会長

岡田 義治



立準備会、そして教育委員会でご承認を頂き、昨年末の県議会です承されたものです。特に同窓生の皆様の熱意とご支援に感謝を申し上げます。

同窓生の皆様には、お変わりなくご健勝の事と思います。早いもので、一昨年JR雀宮駅の東に着工された新しい校舎が今春完成します。

①校名「宇工高」を是非残したい、という卒業生や学校関係者の願いが、関係各方面の方々のご理解を頂き、宇都宮工業高校を継続することになりました。同窓会・PTA・教職員の総意を以て、新校設

同窓会会報あいさつ

学校長

岡村 悦夫



②「一人は一校を代表す」という教訓を残した、初代校長・安美賀先生の胸像を、新しい学校に復原するため、同窓生の皆様をはじめ、旧職員やPTAの皆様にも「募金」をお願いしました。皆様から、大変好意的な激励のご連絡を頂き、順調に推移しています。今後、広く同窓生以外の企業や地域の方々へも呼びかけを行いたいと思います。

同窓会の皆様には、本校の教育振興と在校生のために特段のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、宇都宮工業高校新校ですが、4月に開校式を行ったあと入学式を挙行、8月中旬に現在地からの移転を完了し、9月から供用開始、開校記念式典などが予定されています。同窓生の皆様には、機会を捉えて、新校に足を運んでいただければと

思います。

宇都宮工業高校新校は、現在の宇都宮工業高校が担っている本県工業教育の中心校としての役割を継承すると同時に、工業教育に関する種々の情報発信の拠点校としての機能を有した学校となります。4系11コースという新しい学びを導入し、施設・設備はもちろん教育内容においても、進路実績などにおいても日本一の工業高校を目指していきます。そのような中、企業や大学、県の研究機関と連携し、先端技術や複合技術に触れる機会を設けていきます。例えば、学校設定科目「科学技術と産業」を新たに取り入れ、科学技術や工業全般について講話や実演を通し広く学んでいきます。こうした、新校での取り組みに是非とも同窓生のお力添えをいただきながら、質の高い教育を生徒達に提供し、「夢を創り、夢をかたちにする宇都宮工業高校」づくりを進めていければと思います。会員の皆様のな

創立九十周年に向けての諸事業がスタート
同窓会事務局長 小嶋 計一
校舎の移転に伴い、同窓会として「学校の行事・校舎等の映像による記録」、「初代校長 安美賀先生の胸像の移転」、「現在の校地（京町）に記念碑の建立」、「国際交流活動の支援」などのため、平成二十二年十月より同窓会事業の協賛金募金を開始致しました。同窓会員・本高旧職員・PTA・工事関係者等に御協力頂きました。平成二十三年二月末現在、初代校長安美賀先生の胸像移設工事は三月末の竣工を目指して工事中であり、学校の行事・校舎等の映像による記録は、二口以上募金して頂いた方への配布ができるように、記録も最終段階を迎えています。
新たな地に校舎を移転するに当り、新しい校歌が誕生しました。作曲を本校出身の「渡辺貞夫」氏に、作詞は渡辺氏が「ほていともやす布袋寅泰」氏に依頼して、「無限大」という曲名です。三月中旬に音楽部の生徒達が練習して、四月の開校時に披露される予定です。

3年連続全国出場

定時制サッカー部

〈全国大会 ベスト8〉

〈関東大会 第3位〉

本年度は、「全国大会決勝戦進出」を目標にメンバー16名で夜遅くまで練習をしてきました。

第20回全国高等学校定時制通信制サッカー大会では、昨年の3位には後一步届きませんでした。堂々のベスト8に輝きました。準々決勝では、東京都代表 浅草高校にPK戦の末敗れてしまいました。

本年度の第25回関東地区高等学校定時制通信制サッカー大会は、栃木県開催の為、県チャンピオンとして出場しま



した。関東のレベルが非常に高く初戦敗退と思っていたが、新加入の選手の頑張りもあり、PK戦の末初戦突破を果たし、3位の賞状をもらうことができました。

この結果、7名の選手が栃木県高等学校体育連盟の優秀選手に選ばれました。

応援してくださった、生徒・先生・保護者・同窓会の皆様、ありがとうございました。

宇工ボクシング部24年ぶりの

関東チャンピオン、蘇る宇工拳!

建築科2年

大島 優輝

6月4日〜7日に茨城県立東町運動公園スポーツセンター体育館で行われた、平成22年度第52回関東高等学校ボクシング大会において、電子科3年の田中和樹先輩がピン級(46kg以下) Bブロックで優勝しました。私もセコンドとして帯同し、



目の前で全国でもトップクラスの選手の動きを見て、様々なコンビネーションを見ることができ、とても勉強になりました。また、田中先輩の優勝に感動しました。

そして、夏には3年生の先輩方が引退し、今度は私が部を引っ張っていく番になりました。最近では、県下新人大会において、電気科2年の田嶋学がピン級で優勝、インターリア設備科1年涌井一稀がフライ級で準優勝し、12月23日〜26日に群馬県総合スポーツセンターで行われた関東7県選抜大会に出場しました。



そして私自身も新人大会で念願の初勝利をもち取る事ができました。ボクシングの大会は高校生同士が殴り合っで勝負を決めるので、勝った時はとても嬉しい気持ちになりました。また、試合を通して自分への課題も見つかりました。来年こそはインターハイに出場できるように努力をしていきたいと思っています。

す。

今年度は、関東優勝や関東選抜出場など、素晴らしい成績を残すことができました。このような結果を残すことができたのは、顧問の松本先生、伊東先生、外部講師の大

河原先生の熱心なご指導と、栃木県アマチュアボクシング連盟の先生方や周囲の方々のご協力、ご指導があったからだと思えます。また、同窓会からは激励金を頂戴いたしました。心から感謝申し上げます。この結果に満足せず、さらに上を目指して努力します。今後とも応援をよろしくお願いいたします。

世界大会で

4大会連続入賞

電子機械科2年

原田 洋行

8月に開催されたWRO(世界のみや大会などの国内予選会の全てで優勝しましたが、日本決勝戦では苦戦し、「第3位」で世界大会に選出されました。

世界大会が開催されるフィリピン・マニラ市には11月5日に到着しました。マニラ空港では心強いことに本校OBの相互電設棟の平塚健様(写真中央)が私たちを出迎



えてくれました。顧問の蓮田先生が6月の同窓会総会で平塚様とお会いしたことにあります。マニラ市在住の平塚様には大会中、熱烈な応援を毎日頂いたり、食事をご馳走になったりしました。改めて御礼を申し上げると共に本校の生徒で良かったと感激しました。

32力国・13000チームから各代表が参加していました。試合前夜に実現不可能と思えるルール変更があり、世界中の選手と共に深夜までプログラムとマシンの改良に取り組みました。大会では懸念した通り新ルールに対応出来たチームが在りませんでした。私達は2回とも大会最高点を出しました。しかし、順位は8位。帰国後公開された得点一覧からも事務局の勘違



http://seisan2000.sakura.ne.jp

いにより順位が決定していることが指摘されました。しかし、訂正されることは無く、翌日には得点一覧がフイリピンのホームページから消えたのには絶句しました。「優秀賞」が授与され、2007年の台湾大会から4大会連続で8個目の入賞を果たしました。

バスケットボール部

全国大会出場・県大会5連覇

機械科3年

大塚 一樹



バスケットボール部は、新人戦から冬のウインターカップまでの5つの県大会全て優勝し、5冠を達成することができました。また、千葉県で開催された国体に、メンバー8人が栃木県の代表として参加し、全国大会を経験できました。中でも沖縄で行われたインターハイは心に残った試合でした。1回戦は地元代表の美来工科高との対戦。観戦者のほとんどが地元応援者なので、美来工科のシュートが決まるたびに会場が歓喜の拍手で揺れました。完全アウェイの中、73対62の9点差で勝利を勝ち取ることができました。

続く2回戦は岡山学芸館高。最終クォーターに入り、シュート確率が落ちた宇工は流れを取り戻す事が出来ず、66対76の10点差で負けてしまいました。勝つことができた試合だけに、とても悔いの残る試合でした。

この負けた悔しさをバネに、次の全国大会であるウインターカップに向けて、体力の強化を図るなどの練習をして大会に臨みました。2回戦での優勝候補の福岡第一高と対戦する練習をしていて、一回戦の奈良高に足下をすくわれてしまいました。3年生最後の大会が思わぬ結果となり残念でしたが、1・2年生にとっては、全国で戦う厳しさを肌で感じ、貴重な経験になったと思います。

この経験を生かして、先を考えず一戦一戦を大切に戦い、一試合ずつ勝ち進み最終的には全国制覇を目指して、これからの練習に全力で取り組んで欲しいと思います。

最後になりますが、3年間ご指導して下さいました千村先生をはじめ、篠崎先生、佐藤先生、ありがとうございます。

平成二十二年度の進路

進路指導部長 蓮田 裕一

1 早くから備えた就職体制

半年以上前から始まっている大学の就職状況から今年度の求人数を前年度の8割である400社・総求人数600人と予想し、4月から予定通り、3学年及び各工業科と連携し、放課後に就職者についても1時間の課外授業を展開しました。履歴書の書き方・SPI検査対策・歴代の卒業生が残してくれた受験報告書の研究・面接練習など、早くから就職試験対策に取り組みました。協力頂いた先生方に感謝いたします。

2 科学技術高校に向けた進学体制の充実

本年度の進学については大学に65名、短大・高専2名、大学校17名、専門学校に50名が決定しています。今年度も宇都宮大・静岡大・新潟大工学部をはじめ、国立大学に13名が合格するなど科学技術高校の構想にある、継続教育の充実に努めてきました。

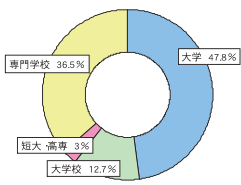
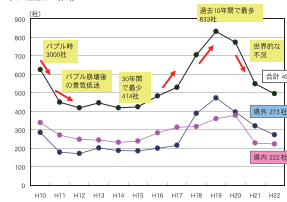


図2 進学内訳

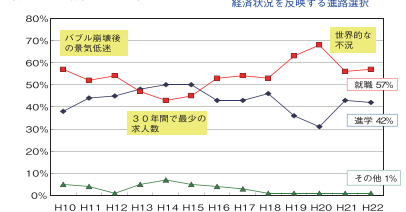
早い段階で進路を決定し、大学・短大・専門学校のように進路別にコース別の導入やカリキュラムの整備など、進学指導体制の確立を行っています。就職と進学双方の選択肢をより充実することで本校生徒の進路希望を実現したいと思います。

求人数の推移



昨年の549社から495社に減少しました。県内の優良企業の閉鎖の報道や求人見送りの連絡を受けながら3年生の就職指導を行ってきました。早くからの備えもあり、就職一次試験は昨年の80%から増加し85%以上の生徒が合格し、年内に全員就職が内定しました。業界からの高い評価と生徒たちの努力の成果です。

最近の進路状況の変化



平成21年度収支決算報告

平成22年度予算(案)

(1) 一般会計

収入金	7,656,711円	
支出金	4,187,077円	
残金	3,469,634円	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

(1) 一般会計

収入金	6,929,634円	
支出金	6,929,634円	
残金	0円	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

■収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	4,104,562	4,104,562	0	
永久会員費	3,520,000	3,550,000	30,000	全10,000×324人=3,240,000 定10,000×31人=310,000
雑収入	0	2,149	2,149	一般会計利子
計	7,624,562	7,656,711	32,149	

■収入の部

(単位:円)

科目	21年度予算額	22年度予算額	増減	備考
繰越金	4,104,562	3,469,634	△634,928	
永久会員費	3,520,000	3,460,000	△60,000	金10,000×317人=3,170,000 金10,000×29人=290,000
教育活動後援費	0	0	0	
雑収入	0	0	0	一般会計利子
計	7,624,562	6,929,634	△649,928	

■支出の部

科目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	800,000	816,829	16,829	総会、理事会等
事務局運営費	300,000	348,555	48,555	名簿管理費、通信費
渉外費	300,000	150,000	△150,000	母校歓迎会等、寸志等
事業費	1,300,000	1,919,378	619,378	饗別金、卒業記念品、同窓会報、同窓会長賞
教育活動後援費	500,000	500,000	0	H21年度教育活動後援費
慶弔費	350,000	141,890	△208,110	盛花、香料等、弔辞用紙
同窓会HP管理費	300,000	310,416	10,416	HP制作料、サーバ費
母校映像記録費	1,000,000	0	△1,000,000	H22年2年分支出予定
予備費	2,774,562	0	△2,774,562	
計	7,624,562	4,187,077	△3,437,485	

■支出の部

科目	21年度予算額	22年度予算額	増減	備考
会議費	800,000	800,000	0	総会・理事会
事務局運営費	300,000	300,000	0	通信費、一般備品、総会・理事会資料印刷代
渉外費	300,000	300,000	0	母校歓迎会等 寸志等
事業費	1,300,000	1,300,000	0	饗別金、卒業記念品、同窓会報、同窓会長賞
教育活動後援費	500,000	500,000	0	
慶祝費	350,000	350,000	0	
ISO維持管理費	0	400,000	400,000	3年毎に更新の為項立
同窓会HP管理費	300,000	200,000	△100,000	
母校映像記録費	1,000,000	2,000,000	1,000,000	H21～H22の2年間
予備費	2,774,562	779,634	△1,994,928	
計	7,624,562	6,929,634	△649,928	

(2) その他

①基金

(単位:円)

基金(90周年準備金)	104,785,098 (4,000,000)		
足利銀行	54,570,417	栃木銀行	20,167,186
		農林中央金庫	10,047,495
		日光杉並木基金	20,000,000

(2) その他

①基金

(単位:円)

基金(90周年準備金)	104,785,098 (4,000,000)		
足利銀行	54,570,417	栃木銀行	20,167,186
		農林中央金庫	10,047,495
		日光杉並木基金	20,000,000

監査報告

母校において、関係諸帳簿・領収書・通帳等と照合の結果、予算の執行・記帳・その他について、正確であり誤りのないことを証明します。

平成22年4月28日

会計監査

同窓会定期総会報告

平成二十二年度総会は、平成二十二年五月三十日(土)、ホテル丸治宇都宮に於いて常任理事会に引き続き総会が開催されました。平成二十一年度決算報告及び平成二十二年年度予算案が掲載してありますのでご覧下さい。

また、九十周年記念事業(安美賀元校長先生の記念碑工事等)と募金についても協議がされ、十一月から三千万円を目標に開始されることに成りました。

四月には教頭として五月女勉先生、土木科に大房幸司先生、イ設科に甫坂茂樹先生、電子科に高松秀和先生、電子機械科に高館一幸先生・吉澤達生先生、定時制電気コースに花塚敏彦先生が赴任されまして、宇工出身の教職員は二十五名になりました。

一、同窓会事務局員の動向

二十二年の三月で、島田繁男教頭が校長として那須清峰高に、体育科の鈴木賢一先生が宇都宮白楊高へ、イ設科の寺坂安晴先生が今工高へ、上澤宏美先生が矢板高へ、機械科

一、同窓会長賞・奨励賞

同窓会長賞として機械科三年平野愛理さん、電子機械科岡田宗大君の二名に、同窓会長奨励賞としてバスケットボール部、生産システム研究部、科学技術研究部、定時制サッカー部に授与致しました。

平成22年度役員

会長	治男	一夫	男造	一久	薫	之明	好藏	一夫	男誠	雄夫	男隆	長雄
副会長	岡嶋	阿久	湯齋	今梅	藤字	和根	大小	板吉	福阿	猪伊	飯岡	野和
監査	田田	津口	藤井	津井	梶田	林橋	成田	部瀬	藤塚	村尻	田沼	平辺
顧問	義繁	英忠	秀恭	林弘	智倭	秀一	健富	和成	光悦	政辰	良勇	
参事	岡嶋	阿久	湯齋	今梅	藤字	和根	大小	板吉	福阿	猪伊	飯岡	野和
	田田	津口	藤井	津井	梶田	林橋	成田	部瀬	藤塚	村尻	田沼	平辺
	義繁	英忠	秀恭	林弘	智倭	秀一	健富	和成	光悦	政辰	良勇	